



4コマ
マンガ付

いわ み かど ら
石見神楽

演目紹介

ダイジェスト版



大蛇



高天原を迫られた須佐之男命が出雲の国 斐の川(斐伊川)にさしかかると、嘆き悲しむ老夫婦と稲田姫に出会う。理由を尋ねると、八岐の大蛇が毎年現れ、既に7人の娘が攫われ、残ったこの稲田姫もやがてその大蛇に攫われてしまうと云う。

一計を案じた須佐之男命は、種々の木の実で醸した毒酒を飲ませ酔ったところを退治する。そのとき、大蛇の尾から出た剣を『天の村雲の剣』と名づけ、天照大御神に捧げ、稲田姫と結ばれる。

ド迫力の大蛇が須佐之男命を相手に火を噴き暴れまくる! ひえ〜つと、思わず感嘆!!

出雲神話で超有名!

4コマ 大蛇はこんな演目!



大蛇退治の下準備!

① 毒酒を用意

② 大蛇が出てくる時に

これ、OK!



恵比須



この神楽は、出雲の国美保神社の御祭神、恵比須様が磯辺で釣りをしている御姿を舞ったものです。にこやかに鯛を釣る恵比須様の様子が面白おかしく、心の和む演目。

恵比須様は昔から漁業、商業の神様として崇拝されています。

舞の中でのコミカルな動きで恵比須様は子ども達にも大人気!

鯛釣りの前に撒き餌とみだてて、福飴を撒いちゃいますよ。

豆知識

正式なストーリーは、鯛釣りの前段で大人(たいじん)や官人(みやびと)が出てきます。最近では、大人が出ず、恵比須の鯛釣りの部分のみ舞う場合が多いんだ。大黒様が出るケースも?!



福をもたらす人気者!

4コマ 恵比須はこんな演目!



鈴玉が四方八方飛んでくる! めでたい席での定番演目!

塵輪



八調子では神2人・鬼2人が対決する、鬼舞の代表的な神楽です。

第14代天皇・帯中津日子が、異国より日本に攻め来る数万騎の軍勢を迎え撃ちます。その中に身に翼があり黒雲で飛びまわる「塵輪」という悪鬼が、人々を害していると聞き、天皇自ら天の鹿兒弓、天の羽々矢をもってこれを退治します。

見どころは、白鬼と赤鬼の軽快でスピーディーな舞。誰もが目を奪われます!

豆知識

六調子では神3人と鬼3匹(女鬼)で舞うものが多く見られます。また、芸北系では、鬼の数が5匹になることもあります。

塵輪、覚悟!

4コマ 塵輪はこんな演目!



2神2鬼の舞に歓声があがります! この演目のファン多し!

天神



動画で見る



平 安の頃、右大臣であった菅原道真は、左大臣藤原時平に謀られ、筑紫太宰府へ左遷されます。その後、時平は39歳の若さで死に、その一党も次々に死んでしまいます。これは道真公のしわざであると考えられ、神楽では道真が時平と戦うよう創作してあります。石見神楽では激しい太刀対決が繰り広げられ、思わず手に汗握る展開に。衣裳も2回も3回も早変わりして、終盤に向かうほど華々しくなる見所満載の演目。地域によっては随身も道真と共に激しく戦います！

豆知識

天神の見所として、衣裳の早変わりがあります。舞が進むにつれ衣裳も派手になります。

鍾馗



動画で見る



む かし唐の玄宗皇帝が病床に臥していました。この時、夢の中に1人の神が現われ、鬼を退治しました。皇帝が夢からさめると急に病が癒えたので、画人を呼んでその神の像を描かせると、長く豊かな髭を蓄え、中国の官人の衣裳を着て剣を持ち、大きな眼で何かを睨みつけている姿は「鍾馗」であると明らかに。この演目は能楽「鍾馗」「皇帝」の物語と、須佐之男命と蘇民将来との「茅の輪」の故事が合体したものと考えられています。

鍾馗の神髓がわかるなら、もうあなたは立派な神楽通！ 数ある演目の中でも、ひとさわかず豪華な衣裳も見所だよ！

岩戸



動画で見る



天 照大御神が、弟・須佐之男命の乱暴に困り天の岩戸の中にお隠れになったので、世の中すべてが闇夜となり多くの禍が起りました。そこで神々は集まって相談され、天の宇津女命を呼んでおどらせ、長鳴鳥を鳴かせ賑わいを出しました。これを不思議に思った大御神が岩戸を少し開けたところを、大力の宇津女命が岩戸を開き天照大御神を迎え出す事に成功。再び世の中を明るく照らしはじめ、世は平和を取り戻しました。

豆知識

大蛇退治で大活躍する須佐之男命ですが、それまでは乱暴者で、お姉さんを困らせてばかりいたんだって！

4コマ 天神はこんな演目！

学問の神様です

1 結果、京から太宰府へ左遷されてしまう事になりました。

2 時平を討ち、都にある時平邸にのりこも道真に討ちましよう！

3 雷よ！ 我先手必勝！ 剣閃とびかう！ 衣裳を替えがえ 激しく戦います！

4 無念!! お見事！ 時平を討ち取った道真

後に天神さんとなり学問の神様として崇められましたとき

4コマ 鍾馗はこんな演目！

病魔退散ー！

1 中国・唐の玄宗皇帝は重い病に苦しんでいました。

2 病の正体は疫神。人の目には見えないので退治できず、周りは手をこまねくばかり

3 国中を駆けめぐりあらゆるものを病気で苦しめこの国も「魔国」にしてやるー!!

4 熾烈な戦いを制したのはわれらが鍾馗！ 疫神は十束の剣によって退治されます。

これにより、皇帝は全快！ 国は安泰しましたとさ

4コマ 岩戸はこんな演目！

神々しいでしょ？

1 これも全部暴れた須佐之男命が悪いんじゃないや

2 困った2人は、踊りの上手な宇津女命を岩戸の前に呼び出します

3 天照大御神、無事降臨！

4 天照大御神、無事降臨！ 日のお光が戻りましたとさ

激しい太刀舞がカッコいい演目！

八幡

動画で見る



武 勇の神、八幡宮の祭神である八幡麻呂を讃える演目です。

九州宇佐八幡宮に祀られている八幡麻呂という神様が、異国から飛来した第六天の悪魔王が人々をつぎつぎと殺害しているの聞き、神通の弓、方便の矢をもって退治します。正義(神)対、悪(鬼)。石見神楽の代表的な展開の神楽です。

くるくる回るぜ！石見神楽の真骨頂！勇壮に戦い舞う姿が、心地よい！

同じ八幡でも、神は男っばい面、美顔面や面をつけない素面だったり、鬼も般若や男鬼・黒鬼・赤鬼など団体によって異なります。見比べてみるのもオススメです！

正義対悪の代表演目！ 4コマ 八幡はこんな演目！

1 私八幡麻呂。元居た国へ帰れ！さもなければこの弓と矢でおまえを退治するぞ！
神通の弓、方便の矢

2 名りのありきは石見神楽のお約束
私は第六天の悪魔王。邪魔だてするならおまえの生き血をすすつてやるぞ！

3 BATTLE!!
やっやる！

4 WIN!
ついに！第六天の悪魔王は、神通の弓、方便の矢によって退治されました。

第六天の悪魔王は三界無邊(さんかいむへん)の煙に変化して人の生き血を吸って鬚うんだよ！

道返し

動画で見る



常 陸の国に住む武甕槌命が異国より攻めてきた大悪鬼と戦います。命と闘った後に鬼は降参し、九州高千穂の峰に有る千五百穂の稲穂(米)を食えと命令されます。石見神楽では珍しく、鬼が許され国土が平穏になるという神楽です。

神と鬼が共に太刀を持って戦うのが特徴的な演目で、鬼面が泣き顔だったり、牙が沢山生えているもの、目が光っているもの、口から火をはくものなど、団体によって工夫が沢山。神楽ファンにも人気の演目です。

豆知識
「タケミカツチ」とは、「勇気があって何もおそれない」ことをあらわしています。

心を入れ替えます 4コマ 道返しはこんな演目！

1 日本は美しい国である！おまえを上陸させるわけにはいかない！
タケミカツチ

2 ワシは世界各地をおさめる事ができる！ワシに刃向かうならけりあげてやでしてやる！
Beautiful JAPAN

3 まいた！天にのぼっても地にくだらぬ戦つても刀の先からはのがれたれなかつた命だけは助けてくれ！
たまたま

4 よし！高千穂に行き人は喰わず、米を食べるなら許そう
高千穂へ行き、鬼は高千穂へ行き、改心しました。

頼政

動画で見る



の神楽は、源頼政が鶴という怪物を退治するお話です。平安時代末期、毎夜丑の刻になるとヒョ〜ヒョ〜と気味の悪い唸りと共に東三条の森から黒雲がわき出て、帝の寝所である清涼殿を黒く覆ってしまいます。帝はそのたびにうなされ、ついには病魔に侵されてしまいました。それは、姿のわからぬ鶴という怪物のしわざ。天皇は、弓の名手である源頼政に鶴退治を命じ、頼政は家来の猪早太と共に森へ向かいます。途中いたずらをする猿たちをこらしめ、いよいよ鶴も登場。無事に退治することができました。

シリアスな鶴！猿のコミカルな動き！緩急を楽しめる2度おいしい演目だよ。

お猿さん登場！ 4コマ 頼政はこんな演目！

1 京、帝の御所・清涼殿。帝が夢の中で毎晩丑の刻になるとうなされていた。
帝が頼政に「なんとかしてくれ」と命じます

2 ある夜の清涼殿。黒雲の中にやたら動く影が！
うーん

3 一方、庶民の間では悪い猿がたくさん出てきて人々を悩ませます。
こうなったら、手下の猿どもを使って木を焚きやせー！

4 妖術を使う鶴！強敵再登場！蜘蛛の糸を操ります
源頼政・猪早太。2人で力をあわせて戦います
辛勝！鶴退治にからくも成功し、平和が訪れました。

石見神楽 ③ まめ知識



石見神楽にはかかせない舞台や実際に舞う舞子さんに密着取材しました！これであなたも神楽ツウ～



舞台

舞台によって神楽の見方や魅力も様々

神社 石見神楽舞台のスタンダード。

天蓋

竹を格子状に組んで、紙垂(しで)を垂らし、上に柴(神)を乗せたもの。神楽は、この四角の中で舞われ、四隅の角は、東西南北を意味するんだ。

水引幕

社中名などが書いてあるよ！

斎灯

神社で舞う時、炊いてある火。これは神様を意味しています。当たると暖かいけれど、火の粉には注意！

神社の奥にある祭壇。神楽を舞う時、舞子さんが祭壇にお尻を向けて舞うのっておかしい？
…実は、神様は神楽を斎灯から見ていらっしやるのです!!

出幕

ここから神楽の登場人物が現れる!



神楽殿

石見地方には、神社の隣に神楽を舞うための神楽殿がけっこうある!



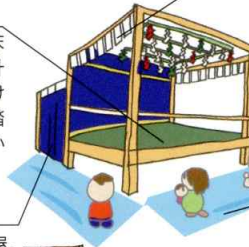
やぐら その日限りの特設ステージ!!

ステージ床

ステージ部分の床が滑る時は、一升瓶の酒を吹きかけたり、濡れ雑巾を踏んだりして滑らないようにしてるよ。

楽屋

ステージの裏は楽屋。いろんな物がぶら下がっているっ!



花

奉納社中へのご祝儀を御花と呼ぶんだ。(任意です) 花を打って頂いた方の名前と金額が貼ってあるよ。



客席

その時によって客席はいろいろ。ブルーシートが敷いてあったり、ゴザだったり。

ホール 天候に左右されない。寒くない。

演出

ホールでの魅力は、照明などの演出も一緒に楽しめる所。奉納とはまた別の楽しみ方が出来るよ。



鬼たちは、出幕、舞台の裾から登場するだけでなく客席から乱入する事も!

毛氈

お囃子さんが座る所。

めくり

上演中の演目などを表示。

舞う人

石見神楽を舞う人を「舞子さん」と呼びます

儀式舞ver.

神事的な儀式舞の時に着るよ。鈴の音色は神様の声を真似たとも。

神楽鈴



烏帽子

狩衣

扇子

袴

唐冠

神ver.

石見神楽のヒーロー。子どもたちの憧れです。



力紙

幣

扇子

水干

鬚毛

鬼ver.

派手な動きは見る者を惹きつけます。さすが人気者!



ざい(鬼棒)

平がっそう

手毛

鬼着

大口袴

鬚毛

面 多彩多色。社中によって異なる趣!

装飾用、縁起物としても。



石見神楽面は、石州和紙を柿渋入りの糊で貼り重ねて作られています。昔は木を彫って作っていました。ひとつの面を作るのにだいたい1ヶ月くらいかけて作られているんだ。

衣裳 まさに豪華絢爛! 同じ衣裳はひとつも無し。唯一無二。

一針ずつ丹念に作られる一品。金糸・銀糸をふんだんに使用して出来る石見神楽の衣裳はまさに豪華絢爛! 見応えあり。

鬼着

衣裳の花形!



肩切り

衣裳を一時で早着替え出来る。



蛇胴 大蛇のリアルな動き! 石見で考案。大蛇の舞には欠かせない。

石見地方 浜田の地で提灯を参考に考案された「蛇胴」1年間乾燥させた竹と和紙を使用しています。

骨組みには竹を使用。軽くて丈夫!

特殊な糊で和紙を幾重にも貼り合わせる!

伸縮できるよう折り目がついているよ。



長さはだいたい17メートル 重さは12キロにも!

囃子

笛

笛はメロディ担当。6つの穴の横笛を使って、奏楽全般をリードするよ。



手拍子

金属製の打楽器。手のひらサイズで両手に持ってこすり合わせ、リズムを取るよ。



小太鼓

奏楽のリズム担当。手首のスナップを使って演奏するよ。実は一番のテクニシャン!



大太鼓

舞をリードするもとても重要な楽器。社中の熟練者が務めるよ。唄いながら囃すよ。



石見神楽とは

日本神話を題材に、独特の哀愁あふれる笛の音、活気溢れる太鼓囃子に合わせて、金糸銀糸を織り込んだ豪華絢爛な衣裳と表情豊かな面を身につけて舞う石見神楽は、島根県西部の石見地方いわみに古くから伝わる伝統芸能です。昔より地域の娯楽として秋祭り例祭の前夜祭として演じられてきましたが、現在では年間を通じて石見各地で石見神楽を観ることができるようになりました。

その演目は、厳かな雰囲気の中で神様をお迎えする「儀式舞」や古事記や日本書紀を題材にした「能舞」など合わせて約30種類にのぼり、受け継ぐ団体は現在130を超えるほどあります。石見神楽は、大蛇が火や煙を吹くといったリアルな演出や勧善懲悪といった分かりやすいストーリーが特徴で、初めて観る人にも明快で、自然と目の前で繰り広げられる神話の世界に誘われます。

神楽の根付く地、島根県西部石見地方で、ぜひ迫真の舞を体感してください。

六調子と八調子

明治政府から神職の演舞が禁止されたことにより、神楽は神職から氏子(民間)に受け継がれました。その中で神楽改正の影響を受けたものが「八調子」、影響を受けなかったものが「六調子」と呼ばれています。八調子神楽は早いテンポでスピード感があり、現在では多くの団体が受け継いでいます。六調子神楽は農作業での動作が「型」となっており、腰を落としゆっくりと重厚に舞うのが特徴で、石見神楽の原型として大元神楽ともいわれ、文化的に大変貴重なものです。「原型」と「進化」、2つのベクトルを持つ石見神楽は、初心者には間口が広く、通にとっては奥の深い、探求心の絶えない伝統芸能です。

同じ神楽でも2つのテイストが楽しめちゃう♡



神楽を支える技

重厚感漂う金糸銀糸の豪華絢爛な衣裳、表情豊かな張り子技術を活用した神楽面、提灯をヒントに開発された大蛇蛇胴。これらは石州和紙が使用され、石見の地の職人が優れた伝統工芸として昇華させ、石見のみならず、県内外の神楽を支える産業として根付いています。



神楽面工房

神楽産業が石見神楽を支えているよ



低い所作の六調子神楽「鍾馗の疫神」



高い所作の八調子神楽「鍾馗の疫神」



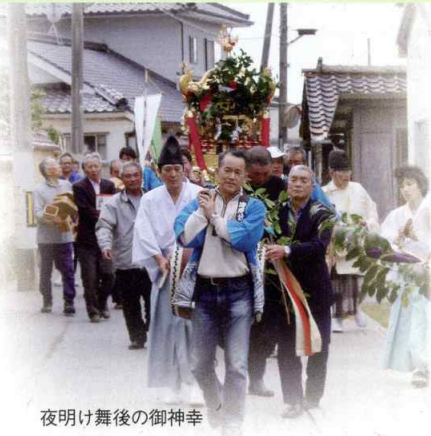
神楽衣裳店



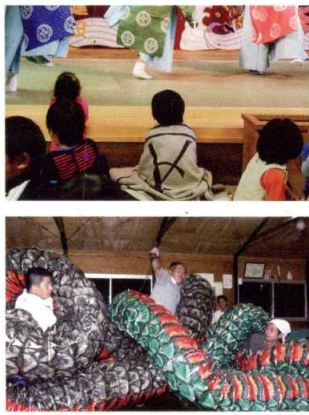
蛇胴製作所

石見神楽

暮らしに根付く



夜明け舞後の御神幸



毛布にくるまる子ども

日々の練習風景

石見神楽の舞子は、まさしく石見に仕事を持ち石見に暮らす人々。神楽を見て育った石見の子どもたちにとって、舞子である父や近所の人々は、秋祭りでの神楽舞台では憧れの存在に。代々親子で神楽を舞う家庭や、「神楽が自分の人生そのもの」と語る人、それを支える地域の人々。石見地方に住む人々にとって、石見神楽は日常生活の一部となり、脈々と受け継がれている全国でも希な伝統芸能です。

道で出会った人がもしかしたら舞子かも!?



発行・総合
お問合せ先

石見観光振興協議会 TEL 0855-29-5647

島根県浜田市片庭町254 (島根県西部県民センター内)

石見神楽情報を日々発信中! ▶▶ f 石見神楽 なつかしの国 石見 検索



なつかしの国
石見
いわみ